平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名　日華化学株式会社　　上場取引所　名
コード番号　4463　URL　http://nicca.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 江守　康昌
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長　(氏名) 林　幸照　TEL 0776-24-0213

四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日　配当支払開始予定日　平成24年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,817	2.1	836	37.2	831	42.2	667	118.5
24年3月期第2四半期	15,493	△1.8	609	△16.6	584	△10.8	305	△5.8

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　900百万円　(104.5%)　24年3月期第2四半期　440百万円　(52.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	37.93	―
24年3月期第2四半期	17.35	―

34655

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	34,655	12,347	30.7	603.86
24年3月期	35,527	11,534	27.8	561.97

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　10,627百万円　24年3月期　9,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年3月期	―	5.00			
25年3月期(予想)			―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,500	4.8	1,350	29.4	1,350	22.4	800	61.7	45.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 有
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	17,710,000 株	24年3月期	17,710,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	110,752 株	24年3月期	110,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	17,599,734 株	24年3月期2Q	17,601,293 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項につきましては、【添付資料】P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興事業等を背景とする緩やかな回復の兆しがみられるものの、欧州を中心とした金融問題や円高の長期化、新興国の景気減速の懸念などから、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進した結果、売上高は158億１千７百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は８億３千６百万円（同37.2%増）、経常利益は８億３千１百万円（同42.2%増）、四半期純利益は６億６千７百万円（同118.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

①化学品事業

売上高は120億６千３百万円（同2.0%減）、セグメント利益は４億７千７百万円（同16.2%減）となりました。

海外では、韓国やインドネシアが好調に推移したものの、中国華南地区が繊維市場減速の影響等により苦戦し、国内では、自動車関連薬剤は回復がみられましたが、長期化する円高の影響等で製紙・情報記録紙用薬剤等が低迷し、売上高は減少しました。

②化粧品事業

売上高は37億５千３百万円（同17.8%増）、セグメント利益は９億７千５百万円（同36.2%増）となりました。

美容サロン業界は顧客単価減少など環境悪化が続く中、デミコスメティクスでのスキャルプ&ヘアケアシリーズ「ビオーブ」を中心にしたヘアケア剤拡販、イーラル株式会社での積極的な事業展開が奏功し、売上高は増加しました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、８億７千１百万円減少し、346億５千５百万円となりました。有形固定資産は増加したものの、現金及び預金の減少等により、総資産は減少しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、16億８千４百万円減少し、223億８百万円となりました。主な要因は、短期借入金の減少及び長期借入金の減少であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、８億１千２百万円増加し、123億４千７百万円となりました。利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の増加及び少数株主持分の増加が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の27.8%から30.7%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期の業績や今後の経済状況等を考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年10月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,157千円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,373,168	2,910,390
受取手形及び売掛金	7,599,027	7,583,883
商品及び製品	2,612,571	2,683,589
仕掛品	593,584	511,431
原材料及び貯蔵品	2,517,857	2,559,949
その他	734,148	766,683
貸倒引当金	△31,978	△31,679
流動資産合計	18,398,379	16,984,248
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,096,678	5,202,507
機械装置及び運搬具（純額）	1,964,765	2,080,787
土地	6,034,750	6,077,405
その他（純額）	1,547,956	1,845,133
有形固定資産合計	14,644,151	15,205,834
無形固定資産		
のれん	24,312	24,139
その他	486,933	435,573
無形固定資産合計	511,245	459,713
投資その他の資産	1,973,740	2,005,852
固定資産合計	17,129,136	17,671,400
資産合計	35,527,516	34,655,648

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,827,363	3,636,789
短期借入金	7,622,144	7,112,014
未払法人税等	117,568	165,951
賞与引当金	397,000	487,000
その他	1,472,532	1,344,985
流動負債合計	13,436,608	12,746,740
固定負債		
長期借入金	7,486,264	6,439,345
退職給付引当金	2,242,580	2,263,236
その他	827,450	859,026
固定負債合計	10,556,294	9,561,607
負債合計	23,992,903	22,308,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,169	3,040,249
利益剰余金	6,692,217	7,271,724
自己株式	△45,824	△46,112
株主資本合計	12,585,107	13,164,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,039	50,767
為替換算調整勘定	△2,774,611	△2,587,716
その他の包括利益累計額合計	△2,694,571	△2,536,948
少数株主持分	1,644,077	1,719,841
純資産合計	11,534,613	12,347,300
負債純資産合計	35,527,516	34,655,648

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	15,493,858	15,817,388
売上原価	10,508,942	10,398,292
売上総利益	4,984,916	5,419,096
販売費及び一般管理費	4,375,444	4,582,867
営業利益	609,472	836,229
営業外収益		
受取利息	4,844	9,654
受取配当金	13,698	15,120
負ののれん償却額	1,308	－
持分法による投資利益	66,983	61,551
その他	98,023	92,382
営業外収益合計	184,858	178,708
営業外費用		
支払利息	83,345	78,481
為替差損	45,839	39,257
売上割引	38,309	43,495
その他	42,030	21,915
営業外費用合計	209,525	183,150
経常利益	584,804	831,787
特別利益		
固定資産売却益	699	3,744
特別利益合計	699	3,744
特別損失		
固定資産除却損	7,982	3,051
固定資産売却損	391	203
投資有価証券評価損	－	1,665
ゴルフ会員権評価損	1,310	－
減損損失	20,260	23,302
災害による損失	63,255	－
特別損失合計	93,199	28,223
税金等調整前四半期純利益	492,304	807,308
法人税等	101,425	123,111
少数株主損益調整前四半期純利益	390,879	684,197
少数株主利益	85,427	16,692
四半期純利益	305,452	667,505

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	390,879	684,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,263	△29,271
為替換算調整勘定	59,825	245,965
その他の包括利益合計	49,561	216,694
四半期包括利益	440,441	900,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	355,014	825,070
少数株主に係る四半期包括利益	85,427	75,820

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	492,304	807,308
減価償却費	692,786	640,777
減損損失	20,260	23,302
災害による損失	63,255	－
のれん償却額	－	174
負ののれん償却額	△1,308	－
投資有価証券評価損	－	1,665
ゴルフ会員権評価損	1,310	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△38,312	20,658
賞与引当金の増減額（△は減少）	△36,000	90,000
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△895	△1,144
受取利息及び受取配当金	△18,542	△24,774
支払利息	83,345	78,481
為替差損益（△は益）	△18,531	△12,502
持分法による投資損益（△は益）	△66,983	△61,551
固定資産処分損益（△は益）	7,673	△488
売上債権の増減額（△は増加）	△61,873	68,454
たな卸資産の増減額（△は増加）	△542,466	17,428
仕入債務の増減額（△は減少）	4,140	△215,763
未払消費税等の増減額（△は減少）	21,877	△25,157
その他	121,132	△46,899
小計	723,173	1,359,966
利息及び配当金の受取額	151,991	125,843
利息の支払額	△85,550	△76,290
法人税等の支払額	△106,446	△181,081
営業活動によるキャッシュ・フロー	683,167	1,228,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△79,480
定期預金の払戻による収入	44,521	79,480
有形固定資産の取得による支出	△956,108	△1,098,474
有形固定資産の売却による収入	1,217	4,500
投資有価証券の取得による支出	△6,925	△7,262
投資有価証券の売却による収入	11	－
その他	△31,930	20,821
投資活動によるキャッシュ・フロー	△949,212	△1,080,415

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	17,318,586	19,195,976
短期借入金の返済による支出	△16,522,111	△19,984,746
長期借入れによる収入	1,761,120	138,800
長期借入金の返済による支出	△1,963,017	△942,379
配当金の支払額	△87,591	△87,791
少数株主への配当金の支払額	△48,219	△37,994
自己株式の売却による収入	18	412
自己株式の取得による支出	△224	△620
財務活動によるキャッシュ・フロー	458,559	△1,718,343
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,603	105,059
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	202,117	△1,465,261
現金及び現金同等物の期首残高	2,794,749	4,268,490
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,996,867	2,803,229

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	12,306,138	3,187,719	15,493,858	15,493,858
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,104	13,594	18,699	18,699
計	12,311,243	3,201,314	15,512,557	15,512,557
セグメント利益	569,928	716,605	1,286,534	1,286,534

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,286,534
セグメント間取引消去	8,127
のれんの償却額	2,395
全社費用（注）	△687,585
四半期連結損益計算書の営業利益	609,472

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額の測定方法の変更）

在外子会社等の収益及び費用は、従来、在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第１四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算しております。この変更は、在外子会社等の収益及び費用の重要性が増し、為替相場の変動が経営管理情報に与える影響が高まってきたことに伴い、為替相場変動による期間損益への影響を平準化することで、より適切に経営管理情報に反映させるために行ったものであります。この変更に伴い、報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額の算定方法を変更し、前第２四半期連結累計期間の金額を修正再表示しております。

（セグメントの区分方法の変更）

従来、「その他」に区分しておりました医薬品事業等につきましては、平成23年３月31日をもって事業撤退しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

連結損益計算書上の減損損失20,260千円は、全社資産である遊休資産に係るものであり、報告セグメントに配分された固定資産の減損損失はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	12,063,521	3,753,866	15,817,388	15,817,388
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,287	11,406	13,693	13,693
計	12,065,808	3,765,273	15,831,082	15,831,082
セグメント利益	477,605	975,714	1,453,319	1,453,319

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,453,319
セグメント間取引消去	8,127
のれんの償却額	3,704
全社費用（注）	△628,921
四半期連結損益計算書の営業利益	836,229

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「化学品」セグメントにおいて、操業の停止を決定した工場等に係る建物及び構築物等について遊休資産にグルーピングを行い、当該資産の帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては、23,302千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。